

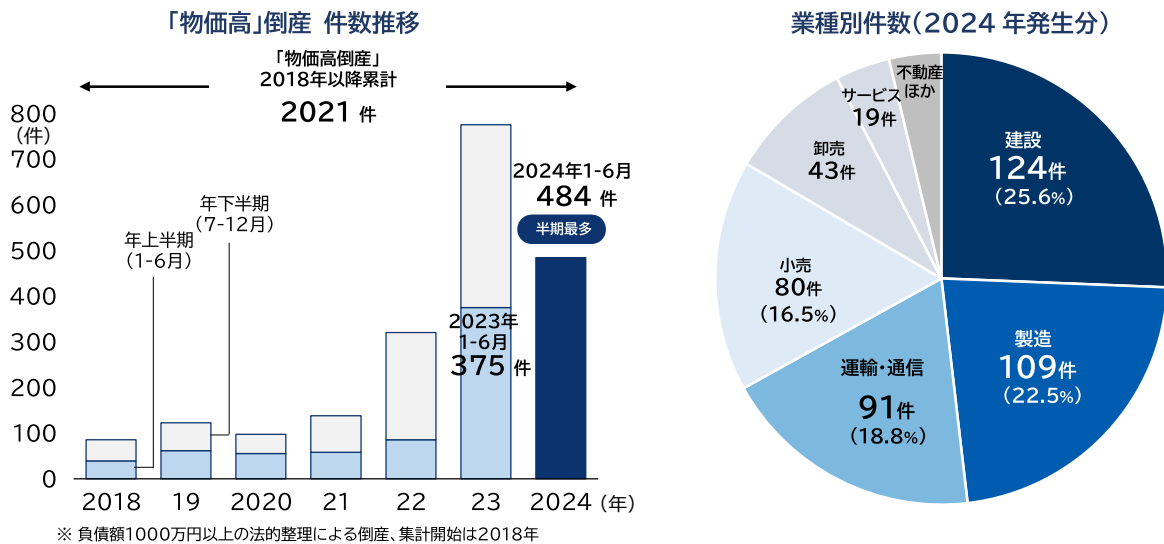
「物価高」倒産動向調査 (2024 年上半期)

物価高倒産、半期最多の 484 件

「建設業」「製造業」は 100 件超 コスト増に価格転嫁追い付かず

燃料や原材料などの「仕入価格の上昇」により収益が維持できず倒産した「物価高」倒産は、2024 年上半期に 484 件と、半期ベースで過去最多を更新した。前年同期 (375 件) を約 3 割上回っており、現状のペースで推移すれば、24 年の物価高倒産の累計は 1000 件に達する可能性がある。月次では、23 年 1 月以降 50 件超で推移しており、24 年 6 月には 77 件発生。集計を開始した 2018 年 1 月から 2024 年 6 月までの累計で 2000 件を超えた。

24 年発生分を業種別にみると、最多は「建設業」の 124 件だった。木材などの建築資材に加え、人件費の上昇による影響が目立ち、総合工事や職別工事などの業種で多く発生した。「製造業」(109 件) は、食材価格の高騰を背景に食料品・飼料・飲料製造で増加した。「運輸・通信業」(91 件) は燃料費などエネルギーコストの上昇が響いたほか、「小売業」(80 件) では飲食店や飲食料点小売の倒産が目立った。



物価高倒産【定義】= 法的整理 (倒産) 企業のうち、原油や燃料、原材料などの「仕入価格の上昇」、取引先からの値下げ圧力等で価格転嫁できなかった「値上げ難」などにより、収益が維持できずに倒産した企業を集計

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 大友 隆靖 03-5919-9342 (直通)

情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。